

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	和歌山市立山口小学校	高橋 輝行
学校所在地		
〒 649 - 6311 和歌山県和歌山市里146 tel 073 (461) 1062 fax 073 (461) 1044 e-mail yamaguchi@wakayama-wky. ed. jp		
担当者名		役職名・担当教科
峯 祐太郎		教諭・6年担任
〔学校の概要〕 本校は、和歌山市の中心部（市役所）から約1.2kmの位置にある。市の東北端にあり、北部は大阪府阪南市と和泉山脈中の境界線をもって接し、東部は岩出市に接している。校区の60%が山林で、自然が多く残っている。歴史的遺産には、熊野古道の雄ノ山峠があり、春には山桜に包まれる。小学校は児童数199名の小規模校である。児童は人懐っこく素直で何事にも真面目に取り組むことができる。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
5・6年生 50名	1名 職員 4名	山口小学校ランチルーム・山口王子跡
実践研究テーマ		
自分たちの郷土【和歌山】を愛する心情を育む ～世界遺産である和歌山の熊野古道を通じて～		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	自分たちの郷土【和歌山】のことをもっと知ろう！！	
〔キーワード〕 世界遺産学習 地域学習 郷土愛		
〔単元目標〕 和歌山の歴史・文化・自然について調べ、伝え合う活動を通して自分たちの郷土【和歌山】の素晴らしさを感じ、郷土を愛する心情を育む。 ○世界遺産について調べることを通して、和歌山県の素晴らしさを理解する。 ○世界遺産について、体験を通じてより自分のこととして捉え学習を深めることができる。 ○調べたことや考えたことについて、まとめたり発表したりする。		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 10 時間 （「 和歌山の世界遺産についてくわしく知ろう 」 8 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 ○地域先達のゲストティーチャー …校区内の歴史に関わる場所についての話や見学 ○和歌山県世界遺産センター …世界遺産学習・次世代育成事業（現地学習） ○和歌山県世界遺産マスター		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	○校区の歴史について知ろう。	○校区の歴史についてくわしい地域の方をゲストティーチャーとして招き、話を聞き、実際に見学する。	○発言、行動観察
2	○熊野古道について調べよう。	○熊野古道について図書室の本やインターネットなどで調べ学習をする。	○発言、ノート
3	○世界遺産・熊野古道についてくわしく学ぼう。(現地学習)	○世界遺産についての話を聞いたり、熊野古道を散策したりして、世界遺産についての学習を深める。	○発言、行動観察、ワークシート
4	○学習したことを新聞にまとめよう。	○現地学習での資料や写真を用意し、よりわかりやすい新聞を作成する。	○新聞
5	○学習したことを伝えよう。	○作成した新聞をもとに自分の考えや思いを伝える。 ○友達の発表を聞き、自分の考えを深める。	○発言、ワークシート
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>成果</p> <p>地域学習の実践を通して、子どもたちに主体的に課題を見つけ、解決しようという態度が身についてきた。また、地域にある歴史的遺産の存在は、校区探検や日々の生活を通して知ってはいるが、それがどういった価値があるものなのかを知ることで、より、自分たちの地域のことを誇りに思う心を育むことにもつながった。</p> <p>課題</p> <p>地域にある歴史的遺産の存在や価値は、その地域に住んでいる方が詳しく知っている。そういった方と学校とをつなぐパイプを太く多岐に広めていくことが求められる。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>世界遺産について、世界遺産センターで話を聞くことで、世界遺産についての知識や、世界遺産が登録されるまで、された後のことについて多くのことを学ぶことができた。特に子どもたちは、一度登録されても、大切にしていかないと登録を外されてしまうことがあるという話が一番印象に残ったようであった。このことから、世界遺産を守っていくことの大切さを学んだように感じた。また、実際に現地を歩くことを通して、その場の雰囲気や、におい、道の凹凸など、多くのことを体験することができた。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>現地では多くのことを学ぶことができた。和歌山市からは交通時間がとてもかかることから、活動後の質問や報告などテレビ会議などを通して行えると良いのではないかと感じた。</p>			

様式 2

平成 27 年度 「次世代育成事業」における学習記録

〔概要報告書 学習記録・活動写真〕



○地域先達のゲストティーチャーによる学習

地域の歴史にくわしい方をゲストティーチャーとして招き、話をいただいた。自分たちの住んでいる山口地区が熊野古道と関係があることを知ることで、熊野古道に関心をもつきっかけになった。

【児童の感想】

- ・自分たちの近くに世界遺産と関係のある場所があるのは知らなかったのが驚きました。
- ・もっとくわしく熊野古道について調べていきたいと思いました。



○和歌山県世界遺産センターによる学習

世界遺産センターでいただいた資料をもとに、「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録された経緯を知ることができた。

【児童の感想】

- ・日本にある世界遺産を知ることができてよかったです。
- ・日本の建物が世界遺産に登録されるまでには長い時間がかかったことに驚きました。
- ・「世界遺産」という言葉は知っていたけれど、自然遺産や文化遺産の種類があることは知らなかったのが勉強になりました。
- ・世界遺産に登録されても、その後、守っていかないといけないところが大変だと思いました。
- ・地図と参詣道の図があったので、世界遺産に登録されている「紀伊山地の霊場と参詣道」がよくわかりました。



○熊野古道散策

2グループに分かれ、実際に熊野古道を歩いた。世界遺産に登録されている場所を歩くことで、より理解が深まった。また、普段の生活の中ではできない貴重な経験ができた。

【児童の感想】

- ・世界遺産に登録されている場所を歩くことができてすごくうれしかったです。
- ・私たちが歩いたのは一部だったけど、とても疲れました。昔の人の苦勞がわかりました。
- ・この自然を守っていくためには、たくさんの人の力が必要だし、自分たちもできることをしていきたいと思いました。
- ・今回は「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産を経験することができたので、他の世界遺産にも行ってみたいと思いました。